

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制支援学校 高等部（知的障がい・肢体不自由） 小、中学部（肢体不自由）		
取り組む課題	児童生徒の学力の充実・児童生徒の自立支援		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・DAISY図書・紙芝居・パネルシアター・読み聞かせ等を活用した授業や休み時間等の図書室利用件数の増加 ・年間の本等の貸し出し数の増加 ・児童生徒、保護者の学校満足度の向上 ・センター的機能を発揮した学校外支援件数の増加（地域連携と情報発信） 		
計画名	BOOK FOREST ～おはなしの森～ プロジェクト [さまざまな障がいや発達段階の児童生徒に応じた読書環境の基礎的環境整備]		
学校経営計画の 中期的目標	2 子どもの障がいに応じた支援を図るための、教員の専門性の向上と授業改善の工夫 (2) ウ 表現力を高め、創造力を豊かにする読書環境の充実と、子どもの主体的に「生きる力」を育む読書活動の推進。 4 関係機関との連携強化による開かれた学校づくりと支援学校のセンター的機能の発揮 (1) 支援チームで巡回相談や教育相談や講師派遣を展開し、障がいのある子どもが地域で学ぶ体制づくりを推進。		
事業目標	児童生徒一人ひとりの自己肯定感の向上と生きる力を高めるための読書活動・読み聞かせ活動ができる基礎的環境整備 「第3次大阪府子ども読書活動計画」の基本方針に基づき、本に親しみ読書の楽しさと大切さを知り自発的な読書活動や読み聞かせ活動を行うことができる環境整備に取り組む。 1 重度重複の障がいのある児童生徒が様々な感覚を使って読書活動・読み聞かせ活動できる「おはなしスペース」の整備。 2 様々な障がいや発達段階の児童生徒に応じた書籍（DAISY図書や視聴覚教材を含む）の準備と読書活動の推進。 3 印刷物障がい（読字等困難）のある児童生徒のためのマルチメディアDAISY等の読字支援アプリによる読書支援。 4 ページめくりが困難な運動障がいのある児童生徒のためのDAISY図書・電子書籍と自助具等を組み合わせた環境設定。 5 書画カメラ等を導入した視覚支援によるグループ学習の推進。 6 地域の幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に在籍する印刷物障がい等の幼児児童生徒に対する相談支援体制の構築		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	1. 学校図書室改修工事 2. 電動スクリーン、ホームシアターシステム、絵本（DAISY図書や視聴覚教材を含む） 3 4 5. タブレット端末、書画カメラ、大型人形劇舞台	
	取組内容	前年度	本校の図書室は、児童生徒が登校するバスホールに隣接し、児童生徒が活用しやすい場所にあるにも関わらず、さまざまな障がいの状況に即した設備・環境が整わず、蔵書数も基準に満たない状況があり室の活用状況は20%程度にとどまっている。児童生徒の主体的に生きる力の育成を図るための読書活動の推進には、図書室の基礎的環境整備が急務の課題である。
		初年度	①書籍の整理、蔵書のリスト作成の実施と、蔵書管理・貸出管理システムの構築。 ②整備後の図書室を効果的に利用するための校内研修の実施。 （視聴覚機器等の使用・管理研修。読み聞かせ研修。DAISY図書活用研修。見る・聞く・姿勢づくり研修等） ③読み聞かせボランティア団体の活動の推進。 ④図書室活用状況の変化に対する評価。 ⑤地域支援活動（相談件数と内容のまとめ） ⑥次年度に向けた活用方法の検討
		2年目	①蔵書管理・貸出管理システムを活用した、効果的な貸出し業務の遂行 ②効果的な図書室利用と教員の指導力向上のための研修の実施。（読み聞かせ研修、見る・聞く姿勢作り研修等） ③図書室活用度をあげる取組みの実施（時間割調整・時間割の工夫など） ④読み聞かせボランティア団体の活動の推進。 ⑤図書室活用状況の変化に対する評価。 ⑥地域支援活動（体制構築） ⑦実践報告会で取組みのまとめと報告（中間報告） ⑧次年度に向けた活用方法の検討
		3年目	①効果的な図書室利用と教員の指導力向上のための研修の継続実施。（読み聞かせ研修、見る・聞く姿勢作り研修等） ②図書室活用度をあげる取組みの見直しと実施（時間割調整・時間割の工夫など） ③読み聞かせボランティア団体の活動の総括と今後の体制構築。 ④図書室活用状況の変化に対する評価。 ⑤地域支援活動（まとめと総括） ⑥実践報告会で最終報告 ⑦報告集で活用成果を報告する。
取組みの 主担・実施者	○総務：教頭 ○事務：事務長、主査 ○基礎的環境整備・業務等統括：首席 ①教務部・研修部 ②支援部・自立活動部・文化情報部視聴覚係 ③生活指導部 ④進路指導部 ⑤ボランティア活用等 ⑥授業等における活動推進（各学部主事、学年、担任団）		
成果の 評価 検証 指標 方法	初年度	①学校教育自己診断アンケート（保護者・教員向けによる評価） ②児童生徒への聞き取りを含むアンケート評価 ③活用状況調査 ・前年度の学校図書標準達成状況は小学部55.4%、中学部34.0%である。書籍の整理、蔵書数リスト作成と、蔵書管理・貸出しシステムの構築、DAISY図書や視聴覚教材を含む書籍の購入による蔵書の充実により年間の貸出冊数前年比50%の増加をめざす。 ・改装後の授業日数等図書室利用状況を前年度26.3%から、整備後初年度80%をめざす。 ・印刷物障がい等がある児童生徒のタブレット端末の稼働率50%以上をめざす。 ・昨年度、副読本の電子化に関する教育相談が2件あった。相談内容のニーズや件数を把握し支援の方策を検討。	
	2年目	①学校教育自己診断アンケート（保護者・教員向けによる評価） ②児童生徒への聞き取りを含むアンケート評価 ③活用状況調査 ・授業時間等図書室利用率の増加、休み時間等の来室者数の増加、本の貸し出し冊数の増加（前年度比10%増） ・授業等におけるDAISY図書の利用件数の増加、DAISY図書を利用した学校外支援件数の増加（前年度比10%増） ・地域支援活動における支援体制の確立 ・実践報告会で中間報告の実施	
	3年目	①学校教育自己診断アンケート（保護者・教員向けによる評価） ②児童生徒への聞き取りを含むアンケート評価 ③活用状況調査 ・授業時間等図書室利用率の増加、休み時間等の来室者数の増加、本の貸し出し冊数の増加（前年度比10%増） ・授業等におけるDAISY図書の利用件数の増加、DAISY図書を利用した学校外支援件数の増加（前年度比10%増） ・地域支援活動の総括 ・実践報告会で最終報告の実施 図書室活用率100%。	
		学校番号	S33

3. 事業費

事業費総額	5,631,420	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	研修講師謝礼(1年目)	○			¥10,000	1	¥10,000
	2							
	3							
							小計	¥10,000
2 旅費	1							
	2							
							小計	
3 消耗需用費	1	プロジェクタースクリーン				¥26,460	1	¥26,460
	2	スピーカー				¥67,500	1	¥67,500
	3	パワーアンプ				¥47,520	1	¥47,520
	4	アナログミキサー				¥17,280	1	¥17,280
	5	ケーブル				¥2,160	2	¥4,320
	6	雑誌架				¥80,000	1	¥80,000
	7	ブックトラックコンパクト				¥37,000	2	¥74,000
	8	大型絵本専用棚				¥82,600	1	¥82,600
	9	絵本、世界絵本箱DVDセレクション、デジ図書				¥2,000	500	¥1,000,000
	10	パネルステージ大型				¥59,000	1	¥59,000
	11	暗幕1				¥24,300	3	¥72,900
	12	暗幕2				¥15,000	1	¥15,000
	13	タブレット端末				¥108,000	4	¥432,000
	14	印刷製本費				¥50,000	1	¥50,000
	15	iTunesカード				¥10,000	4	¥40,000
	16							
	17							
							小計	¥2,068,580
4 維持需用費	1							
	2							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
	3							
							小計	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
							小計	
8 備品購入費	1	プロジェクター				¥201,960	1	¥201,960
	2	片面傾斜書架3段				¥135,000	2	¥270,000
	3	片面傾斜書架3段				¥223,000	2	¥446,000
	4	片面傾斜書架2段				¥108,000	2	¥216,000
	5							
							小計	¥1,133,960
9 工事請負費	1	図書室改修工事				¥2,265,980	1	¥2,265,980
	2							
							小計	¥2,265,980
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
							小計	
							合計	¥5,631,420

積算内訳